

高校日本史プリント（過去問類似）

近代Ⅱ（大正～二つの大戦） No.2

名前

得点

/10

問1 大正末期から昭和初期にかけて、労働者や農民の過酷な現実を描き、社会変革を訴える文学運動が展開された。北洋での過酷な労働実態を描いた小説『蟹工船』を著し、のちに治安維持法違反容疑で検挙され、特高警察の拷問により急死したプロレタリア文学の代表的作家は誰か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 武田麟太郎 2. 小林多喜二 3. 宮本百合子 4. 細井和喜蔵

問2 日露戦争の最中、日本はアメリカ合衆国との間で、アメリカによるフィリピンの支配を認める代わりに、日本による韓国への指導権・保護権を相互に承認する覚書を交わした。この日米間の非公式な合意を何というか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 山県・ロバノフ協定 2. 西・ローゼン協定 3. 桂・タフト協定 4. 小村・ウェーバー協定

問3 日中戦争の開始後、戦時体制が強化されるなかで、国民生活における衣服や髪型に対しても統制が及ぶようになった。この時期、男性に対して着用が推奨・義務づけられた、国防色（カーキ色）を基調とする標準的な衣服を何というか。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 更生服 2. 国民服 3. 戦闘帽 4. 国民帽

問4 世界恐慌後の1930年代、国際連盟の制裁を無視して1935年に東アフリカのエチオピアへの侵略を強行し、のちにドイツのヒトラーらとともに枢軸陣営を形成して第二次世界大戦へと突き進んだ、イタリアのファシスト党の指導者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. フランコ 2. ヒトラー 3. ムッソリーニ 4. スターリン

問5 大正デモクラシー期の日本国内における政治的・社会的動向は、植民地支配下の地域にも影響を与えた。台湾において、独自の立法権や予算議決権を持つ議会の設置を求めて、1921年から帝国議会への請願運動を主導した、台湾の代表的な知識人は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 蔣渭水 2. 余清芳 3. 蔡培火 4. 林献堂

問6 日中戦争の長期化にともない、近衛文麿は既成政党を解消して一党一党的な強力な政治体制を築こうとする新体制運動を展開した。この運動の結果、1940年に結成され、既存の政党や各種団体を統合して挙国一致体制を支えることとなった組織の名称を答えよ。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 大政翼賛会 2. 昭和研究会 3. 翼賛政治会 4. 産業報国会

問7 第一次世界大戦末期に発生した主食の価格急騰にともなう民衆運動の後、日本政府が国内の食糧不足を根本的に解決するため、朝鮮において土地改良や水利施設の整備、品種改良などを進め、日本本土へのコメの移入高を大幅に増加させる契機となった農業政策を何というか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 土地調査事業 2. 皇民化政策 3. 産米増殖計画 4. 土地整理事業

問8 1930年代、政府による思想弾圧や言論統制が強まるなか、プロレタリア文学運動に関わった作家や知識人らが、自らの共産主義的・反戦的思想を放棄し、国家の体制や戦争遂行を支持する立場へと歩み寄った現象を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 赤化 2. 転向 3. 労農 4. 国体

問9 1930年代の満州事変期において、日本が中国東北部や内蒙古に持つ権益を維持・拡大することを正当化し、軍事行動への国民の支持を調達するために、新聞などのメディアで盛んに用いられたスローガンは何か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 一億総特攻の精神 2. 東亜新秩序の建設 3. 大東亜共栄圏の建設 4. 満蒙は日本の生命線

問10 1927年に内閣を組織すると、支拮猶予令（モラトリアム）を発して金融恐慌を沈静化させた。外交面では中国への積極的な干渉を行い、山東出兵などを実施したが、満州で起きた張作霖爆殺事件（満州某重大事件）の戦後処理において昭和天皇の不信を買い、総辞職を余儀なくされた首相は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 浜口雄幸 2. 近衛文麿 3. 田中義一 4. 岡田啓介

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 2 小林多喜二	昭和初期には、社会主義思想の影響を受けて労働者の過酷な現実を描くプロレタリア文学が流行した。その代表的作家である人物は、オホーツク海での過酷な労働実態を描いた『蟹工船』を発表したが、共産党への資金援助などを理由に特高警察に逮捕され、拷問死した。同時期のプロレタリア文学者としては、ほかに『太陽のない街』を著した徳永直などが知られる。
問2	答え 3 桂・タフト協定	日露戦争中の1905年7月、日本の首相である桂太郎とアメリカの陸軍長官タフトとの間で交わされた密約である。この協定により、日本はアメリカのフィリピン支配を承認し、アメリカは日本の韓国に対する保護権を承認した。これにより、日本は韓国の植民地化を進めるにあたってアメリカからの干渉を防ぐことに成功した。
問3	答え 2 国民服	日中戦争の長期化に伴い、1940年に「国民服令」が制定され、男性の標準服として定められた。これは物資の節約と国民の規律向上、戦意高揚を目的としたものであり、戦時下の男性の代表的な服装となった。
問4	答え 3 ムッソリーニ	イタリアのファシスト党を率いたムッソリーニは、1922年のローマ進軍を経て政権を握り、一党独裁体制を築いた。世界恐慌後の1935年にはエチオピア侵略を強行し、国際的に孤立するなかでドイツのヒトラーに接近した。その後、ベルリン・ローマ枢軸の形成や日独伊三国同盟の締結を経て、第二次世界大戦に参戦することとなった。
問5	答え 4 林献堂	大正期から昭和初期にかけて、日本統治下の台湾では自治権の獲得を目指す運動が展開された。その中心人物となったのが、台湾の資産家であり知識人でもある人物である。彼は台湾議会設置運動を組織し、1921年から毎年、帝国議会に対して請願を繰り返した。この運動は、台湾総督府による同化政策や特別統治に対して、台湾独自の主体性を主張する重要な試みであった。
問6	答え 1 大政翼賛会	日中戦争が長期化するなか、第2次近衛内閣は挙国一致の戦争遂行体制を整えるため、新体制運動を推進した。この運動により既存の政党は解散し、1940年10月にこの組織が結成された。総裁には首相が就任し、国民を戦争協力へと動員する役割を担った。
問7	答え 3 産米増殖計画	第一次世界大戦末期の米騒動を契機に、日本政府は国内の米不足を解消するため、1920年から朝鮮で「産米増殖計画」を開始した。これにより朝鮮からの米の移入高は大幅に増加したが、現地では過酷な収奪となり、朝鮮の農民生活を圧迫することとなった。
問8	答え 2 転向	1930年代、治安維持法などに基づく政府の厳しい弾圧により、多くの社会主義者やプロレタリア文学者らが自らの思想を放棄し、国家体制や戦争支持へと立場を変える「転向」を余儀なくされた。これによりプロレタリア文学運動は事実上崩壊し、戦時下の文学統制がさらに強化された。
問9	答え 4 満蒙は日本の生命線	1931年の満州事変前後から、陸軍や新聞メディアなどは、日本が満州や内蒙古に持つ特殊権益が国家の存立に不可欠であることを強調した。このスローガンは、国民の危機感を煽り、軍事行動や満州国建国を支持させるための世論誘導に大きな役割を果たした。
問10	答え 3 田中義一	1927年に立憲政友会を率いて組閣し、金融恐慌に対しては3週間の支払猶予令（モラトリアム）を出して事態を収拾した。外交では強硬姿勢をとり、山東出兵を行ったが、関東軍による張作霖爆殺事件の報告が二転三転したことで昭和天皇の叱責を受け、内閣総辞職に追い込まれた。